

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学及び難関私立大学（関関同立）延べ合格者の増加 ・センター試験にチャレンジする生徒数の増加 ・希望進路実現率（自己の第1希望）の向上 ・授業アンケートと学校教育自己診断における生徒の授業満足度の向上 ・ICT稼働率の向上
計画名	坂の上の輝く青春 ～進路実現に向けて～

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>【中期的目標】</p> <p>1 学力・進路保障—生徒のモチベーションを向上させ、学力の向上と進路目標の実現を図る</p> <p>（1）教志コース（教員養成系コース）を定着させる。</p> <p>ウ コース生が講義記録と報告、実地実習の記録と報告、レポート課題の作成等を主体的に行うことにより、進学意欲やICT活用能力の向上を図るとともに、学習内容や学習評価の合理化、効率化、適正化を図る。</p> <p>（2）学力向上・進路目標実現のための3年計画（「北高スタンダード」）の活用を図る。</p> <p>エ 授業の工夫・改善（ユニバーサルデザイン化、アクティブ・ラーニングの導入等）を推進し、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。</p> <p>【本年度の具体的な取り組み計画】</p> <p>イ 電子黒板機能付きプロジェクターを活用するなどICTを活用した授業を実施することにより、思考力、判断力、表現力の向上につなげる。</p>		
	<p>①ICT活用による授業の工夫・改善（ユニバーサルデザイン化、アクティブ・ラーニングの導入）を強力に進め、「充実した質の高い、わかりやすい授業」「教員の授業力向上」につなげる。</p> <p>②生徒の主体的・協働的な学びを促し、本校生徒の課題である思考力・判断力・表現力の伸長を図り、希望である進路の実現につなげる。</p> <p>③「教志コース」（専門コース）における外部講師の講義や生徒の実習報告会等に活用することで、「教志コース」の充実を図り、先生になりたいという進路希望の実現につなげる。</p>		
事業目標	<p>①ICT活用による授業の工夫・改善（ユニバーサルデザイン化、アクティブ・ラーニングの導入）を強力に進め、「充実した質の高い、わかりやすい授業」「教員の授業力向上」につなげる。</p> <p>②生徒の主体的・協働的な学びを促し、本校生徒の課題である思考力・判断力・表現力の伸長を図り、希望である進路の実現につなげる。</p> <p>③「教志コース」（専門コース）における外部講師の講義や生徒の実習報告会等に活用することで、「教志コース」の充実を図り、先生になりたいという進路希望の実現につなげる。</p>		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	<p>2・3年生HR教室に電子黒板プロジェクター・・・無線LANアダプタ、ケーブル収納ボックスを含む</p> <p>なお、1年生については上記設備を導入済みであり、教育効果を高めている状況である。</p>	
	取組内容	前年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上・進路目標実現のための3年計画「北高スタンダード」を作成し学校教育活動の核として活用を図った。 ・ICTを活用したアクティブ・ラーニングをテーマにした校外の各種研修や公開授業に参加した。（国語、数学、英語、情報、社会、家庭） ・教員相互の授業見学期間を年間2回設定。さらに教科ごとの研究授業（ICTを活用している教員の授業を優先し、年間1回以上）実施した。
		初年度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改革PT（教頭・首席・教務主任・ICT委員長ほか）を立ち上げ、年間の取組み計画等策定（5月） ・高槻市の中学校を含めた実践校の視察及び校内でICT活用を実践している教諭の授業見学（5月～7月） ・ICT活用した実践事例をもとに職員研修実施（8月） ・教育センターのパッケージ研修（情報・英語）の実施（6月～12月） ・教員相互の授業見学（6月・10月） ・授業アンケート及び学校教育自己診断で効果検証し、PT及び各教科による次年度の計画案検討（2月）
		2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改革PTによる年間計画策定（4月） ・ICT活用の授業実践（通年）、教科ごとの授業研究（～7月） ・アクティブ・ラーニングをテーマにした職員研修（8月） ・教職員相互の授業見学（6月・10月） ・授業アンケート及び学校教育自己診断で効果検証（9月、1月） ・PT及び各教科による本年度総括と次年度の計画案検討（2月）
		3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改革PTによる年間計画策定（4月） ・ICT活用の授業実践（通年）、教科ごとの授業研究（～7月） ・本校教諭の実践発表による職員研修（8月） ・教職員相互の授業見学（6月・10月） ・授業アンケート及び学校教育自己診断で効果検証（9月、1月） ・PT及び各教科による本年度総括と次年度の計画案検討（2月）
取組みの 主担・実施者	<p>取組みの主担：授業改革PT（教頭・首席・教務主任・ICT委員長ほか）</p> <p>取組みの実施者：全教員</p>		
成果の検証 指標方法	初年度	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学及び関関同立延べ合格者数 100名以上 (H27実績100名) (H28実績145名) ・センター試験にチャレンジする生徒数 150名以上 (H27実績149名) (H28実績216名) ・第1希望の進路目標を達成できた生徒の割合80%以上 (H27：83%) (H28：83.6%) ・授業アンケートで「授業に興味・関心を持つことができた」「授業を受けて、知識や技能が身についた」の各項目の平均値を3.1以上 (H27：3.11) (H28：3.05) ・学校教育自己診断で「学習環境に満足している」という生徒の満足度を80%以上(H27：79%)(H28：78.6%) ・教員のICT活用者を全教員の60%以上（事前調査でH27に一度でも活用したことがあると答えた教員は58%）(H28：58.5%) 	
	2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学及び関関同立延べ合格者数 167名以上 ・センター試験にチャレンジする生徒数 230名以上 ・第1希望の進路目標を達成できた生徒の割合87%以上 ・授業アンケートで「授業に興味・関心を持つことができた」「授業を受けて、知識や技能が身についた」の各項目の平均値を3.13以上 ・学校教育自己診断で「学習環境に満足している」という生徒の満足度を83%以上 ・ICT稼働率を初年度より上回ること 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学及び関関同立延べ合格者数 180名以上 ・センター試験にチャレンジする生徒数 240名以上 ・第1希望の進路目標を達成できた生徒の割合90%以上 ・授業アンケートで「授業に興味・関心を持つことができた」「授業を受けて、知識や技能が身についた」の各項目の平均値を3.15以上 ・学校教育自己診断で「学習環境に満足している」という生徒の満足度を85%以上 ・ICT稼働率を前年度より上回ること 	

3. 事業費

事業費総額	3,977,532	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
							小計	
2 旅費	1							
	2							
	3							
							小計	
3 消耗需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
5 役務費	1							
	2							
	3							
							小計	
6 委託料	1							
	2							
	3							
							小計	
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
							小計	
8 備品購入費	1	電子黒板機能付プロジェクター等				180,360	13	¥2,344,680
	2	無線LANユニット、壁掛金具				31,536	13	¥409,968
	3	インターフェースボックス				23,868	13	¥310,284
							小計	¥3,064,932
9 工事請負費	1	設置工事費用				70,200	13	¥912,600
	2							
	3							
							小計	¥912,600
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
	3							
							小計	
							合計	¥3,977,532